

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスおんぶ
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月25日実施

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	得意な「遊びを通して成長を促す」資源にかんしては本格的な資源を確保している	自然遊びをとおして体幹トレーニングを行ったり、自然と触れ合うことで五感を通して何かを感じ取ってもらう	活動(理念)を特化してぶれない支援を提供していきたい
2	障害特性に対応したスペースが十分に確保できている	成長に合わせて、自励具を作成しかつ、それによって事故防止につなげている。	自励具等の意味合いを保護者に理解していただき有効性を知ってもらう活動
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員配置が脆弱であり、事業所一体とした活動ができない。	利用者の障害特性に合わせて事業展開を行うことで集中して支援ができる環境を早急に作る。	支援経験や成功例が蓄積できている分野に特化した運営を展開していく
2	支援の意味合いを説明できていない。	必要な支援であることを「説明・アピール」できていない	すべてに「意味を持って支援」していることをことあるごとに説明する機会を作らなければ事業所の良い点の理解が乏しいのではないかと分析
3			

公表

放課後等デイサービス評価表

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。*おんぷの意見として、◎は自己評価上位 ○はガイドラインとしてはできている評価 ▲は問題点あり △ガイドラインでは問題ないが改善しなければならない評価 ×はまったくできていないもしくは今後検討して善処したい項目

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		障害別にスペースを確保し、多動の利用者との接触を極力防ぎ事故防止に努めている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		▲	現在、職員の確保が難しく、ギリギリの人員基準の日があり早急に人員の補給を行っているがなかなか募集がない。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	◎		構造化された部屋、空間を有し「障害特性に合わせた部屋の確保」ができています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	◎		安全に配慮し、機械類の操作盤、水道、など安全対策を徹底し事故防止に努めた空間である。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	◎		支援内容により、専門空間を設けて集中できる部屋を確保している。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	◎		月一回以上、抽出した利用者から先に支援会議を行っている。問題が発生した場合は随時会議を行い情報を共有しています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		△	長時間でアセスメントができないため、ライン等で情報をいただき対応してる。できうる限りお仕事も忙しいと思うが直接ご意見をお聞きするよう時間を調整したい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	◎		管理者によるトップダウンを行わず、案件を一度職員におろしてから職員の総意を反映して業務改善を行っています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		×	一度も第三者評議会に依頼して、利用者ご家族の評価をいただいていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部講師をお願いして、別の視点から研修を行いたいと感じている。YouTube等の情報を研修材料としてるので深い理解ができていないと感じています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		令和7年度の指針に合わせて令和7年4月から、定期的に更新します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		少し、事業所の理念を押し付けてしまっている傾向だが、保護者等のご意見も真摯に受け止め別の視点で支援計画に反映させたい。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	◎		管理者によるトップダウンを行わず、案件を一度職員におろしてから職員の総意を反映して業務改善を行っています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		▲	支援の難しい案件に関して、技量とうも鑑み同じ支援ができていないと感じている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		▲	障害特性が重複しており、標準化が難しくすべて「個々」の状態を考慮したツールを使っています。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		最適かどうか検証が必要であるが、新様式にのっとり計画を作成同意を得ている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		△	常勤が1名のため、職員のアイデア等を募りいろいろな支援を提供しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		▲	重度の利用者が半分以上を占めるため「成長に見合ったスピードのため」どうしても同じプログラムの提供の達成を待つ支援になってしまっている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。		△	上記同様、重度障害利用者が多く占めてるため、なかなか集団行動に至らない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		△	非常勤が大半のため、支援時間に支障がない時間に打ち合わせを行い一日がスタートすることが多々あります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		×	上記の職員体制のため、直行直帰となり、支援時間終了後に会する機会が持てない。そのため翌日就業前に前日の反省点など検討もしくはSNS等で意見交換を行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		詳しい検証は、月一回の会議の席で検証・改善を行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		相談支援員との情報共有は行っていますが、実際のご家庭の状況など踏まえ家庭との連携は正直難しいと感じている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	△		重度の利用者が半分以上を占めるため全領域をうまく組み合わせ作成支援を行っているが十分でないと感じています。基本活動等は、自立支援と日常生活充実のための活動2、創作活動3、地域交流の機会の提供4、余暇の提供であるが、3に関しては十分な機会が提供できていない。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。		△	重度の利用者が半分以上を占めるため自己決定の判断が厳しい。どうしても「だろう」という観点でデイの理念にしたがって支援を提供してしまっています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	◎		問題事例の会合またはこちらからの開催を求め積極的に参加しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	◎		常に、相談支援事業所が集まっているクローバー等へ相談し、こんな事例（虐待等）を報告相談を行っています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	◎		一部学校では、いまだに放デイの仕組みを理解されず共有を拒んでいます、その他の学校等とは密に連携しております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	◎		常に、相談支援事業所が集まっているクローバー等へ相談し、こんな事例（虐待等）を報告相談を行っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	◎		常に、相談支援事業所が集まっているクローバー等へ相談し、こんな事例（虐待等）を報告相談を行っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		▲	自己事業所のスーパーバイズは行っているが、外部からの意見を聞く機会が少ない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		×	地域性もあり交流に理解がなく、実施実例なし。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	◎		情報をいただき、時間が許す限り参加しています。

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	◎		毎日、SNS等を活用し、日々行った支援内容など情報を共有しています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		×	情報や関係機関との連携は行っているが、ご家族の理解が得られずまったく着手できていない。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		説明および関係資料など紙ベースで配布してるが、どこまでご理解いただいているか不明である。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		ほぼ、保護者のご意見で作成（コミュニケーションおよび言語の獲得が困難な利用者のため自己決定が読めないため）
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	◎		支援プログラムの配布および同意を得て支援している。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	◎		小さな問題のうちから関係機関と連携し対応しています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		×	そもそも、保護者会を望まない、および個人情報をたの利用者に知られたくないなど40番の設問に該当する（希望する）家庭は皆無であるため「組織など存在してません」
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	◎		自己決定や虐待認識がない利用者に対して最善の対応を常に考えて支援しています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	◎		個人情報を他の利用者に知られたくない、世間に障害児の存在を知られたくないなどの若い世帯が増え現在広報誌は休刊、代わりにここに毎日情報を発信しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	◎		上段のような考えの方がふえました。さらに個人情報が流出しないよう努めています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	◎		コミュニケーション能力の向上を常に念頭に置き支援し、意思のくみ取りに最善を尽くしています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		△	発信および、施設の開放など告知しているが住民からの参加および利用希望がないが、防災拠点として開放しています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	◎		マニュアルの整備はもとより、実践研修など事業所内で行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	◎		45同様、発電設備、調理器具など配備していつでも活用できる体制になっています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	◎		個々の緊急時対応マニュアルをご家庭と連携し作成実行しています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	◎		個々の緊急時対応マニュアルをご家庭と連携し作成実行しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	◎		いろいろ想定した中で緊急時対応マニュアルをご家庭と連携し作成実行しています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		障害特性に合わせて、施設の設備の安全運用を行っています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	◎		SNS等で、共有し対応その後の改善などその日のうちに共有し運営しています。

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	◎		年2回以上の研修を行っています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	◎		保護者に拘束時の内容を理解していただき、計画書にもその内容を記載し同意を得て運営しております。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスおんぶ

公表日 令和7年4月15日

利用児童数 令和6年度 25名(兄弟含む)

回収数 23名(家族)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。			15		女性スタッフが不在で休まなければならない日が多い(受け入れできないため)	全介助が多く対応がむずかしく配置ができない現状を説明
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	5			意味が分からなくても参加させてほしい	全員参加のプログラムを考案します
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	18	5			具体的な内容に乏しい、重度であるが何か支援を考えてほしい	新基準にもありますように5家族の方には説明および再アセスメントを行います。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	8			重度のため、将来に役立つ支援かどうか私にもわからない。支援が適切なのか本人の意思がわからないで…。日々変化に乏しく家族としても何を支援していただきたいのか私にもわからない	具体的に将来像をモニタリングして計画を再構築します。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	3			よく支援していただけてますが、息子の喜ぶことばかりで少しは嫌なことも我慢させてほしい。	表情などくみ取り、できないであろうはやめ、いろいろ挑戦する機会を設けます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。				23	*多くの意見として、必要でない。相手が望んでもいないという意見でした。	情報は発信し続けます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	20			イベント費用負担が不明、参加しなくてもいい払いたくない	保護者の意見でもありますが、支援に支障が出るので丁寧に説明して理解をいただきました。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	5			こちらが忙しくてすみません、記名だけで内容まで把握できていなく申し訳ございませんでした。	できうる限り対面で説明させていただきまます。引き続きSNSも活用します。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3			20	必要ない、意味が不明	高等部2年時の方々には進路の情報など発信しております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	23					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	3			回数が少ない、面談はめんどくさい、子育てまで相談したくない家庭の問題	多岐にわたるご意見を真摯に受け止めます
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				23	保護者会っていつようですか？自分の子供に関して知られたくない。そもそも障害のちがいで意見交換など必要ない。	個人情報など、また、学校や学年や、障害特性が違うのでかみ合わない。イベント開催に関しては常に発信しております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23					

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20		3		最近きれいな広報誌をもらっていない。 たの利用者が何をしてもらっているのかわからない。	いいわけですが、最近の保護者の多くは写真NGの方が大半で、以前のような写真付き活動報告が編集できずにいます。引き続き個々人には活動内容をお送りいたします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23				多分	表情での判断ですが楽しく利用していたくようこれからも努力いたします。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23				多分	表情での判断ですが楽しく利用していたくようこれからも努力いたします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	3			職員の増強はできないのでしょうか？金曜、土曜日の職員配置はどうなっていますか？	人材等に募集が常に行っていますがこの業界の人手不足は進行なことを理解していただく説明を行っております。